

国語科 小学校 4年

単元名 家族やふるさとを思う心を
えがいた本を読もう
「世界一美しいぼくの村」
東京書籍 「新しい国語四下」

単元の流れ（全11時間）

【第1次】＜学習活動の見通しを持つ＞

◇第1時

- ・「世界一美しいぼくの村」を通読し、内容のあらましを理解する。
- ・単元名「愛の心をえがいた物語を読もう」をもとに、学習のめあてと学習計画を考えて、学習計画表をつくる。

学習計画表はこちら

CLICK

「活用」の力育成のために
(ポイント①)

【第2次】＜物語を読んで自分の考えをまとめる＞

◇第2時・「世界一美しいぼくの村」全文を通読し、物語の出来事の流れをノートにまとめる。

◇第3時・「愛の心」が描かれているところを見つけて、感じたことや考えたことをグループで交流する。

◇第4時・物語を読んだり、話し合ったりして、考えたことなどを短い文章にまとめて交流する。

「活用」の力育成のために
(ポイント②)

【第3次】＜「愛の心」を描いた本を読む＞

主な学習内容

◇第5時・「愛の心」を描いた本についてブックトークを聞き、読みたい本を決める。

◇第6・7時・選んだ本を読み、心に残った表現とそれについて考えたことなどをカードに書く。

「活用」の力育成のために
(ポイント③)

【第4次】＜読書会を開いて、課題に沿って話したり聞いたりする＞

◇第8時

- ・読書会の持ち方や準備の仕方について考える。
- ・前次に作ったカードをもとに発言の準備や練習をする。

◇第9・10時（本時：第9時）

- ・読んだ本ごとにグループを作り、読書会を開く。グループの読書会の様子について、学級全体で交流する。

◇第11時

- ・学習活動を振り返り、今後の読書計画を立てる。

ワークシートはこちら

CLICK

「活用」の力育成のために
(ポイント④⑤)

HOME

本時の流れへ

授業展開例へ

評価問題

単元目標

- 物語を読んで考えたことなどをまとめ、読書会を開いて、分かりやすく話したり、感じ方や考え方の違いを考えながら聞いたりする。

単元構成の意図

本単元では「愛の心をえがいた物語」を視点として本を選び、各自が読書した後で、読書会を行う。読書会を通して、主体的に読書に取り組む態度を育てるとともに、自分の感じたことや考えたことを分かりやすくまとめて話す力や、自分と友だちの感じ方や考え方の違いを考えながら聞く力を十分「活用」させ、より確かなものとする。

教科書録「こんな本もいっしょに」を活用

「活用」の力を育てるポイント

- ①見通しをもち、主体的に学習できるように学習計画表の作成に十分時間を取る。
- ②この単元では、主体的な読書のための教材として扱い、詳細な読み取りに陥らないように留意する。
- ③テーマを焦点化したブックトークを通じて、紹介された本に興味を持たせることで、読みたい本を進んで選べるようにする。
- ④読書会に先立ち、発言の内容を考えたり、話し方の練習をしたりする場を設定することで、自信を持って話せるようにする。
- ⑤話し手の考えと自分の意見の共通点や相違点を考えながら聞き、考えをまとめさせる。